

第5章 山陰本線（和田山～鳥取）

2021年7月2日（金）から4泊5日の旅を終え、予定通り、山陰本線の和田山～城崎温泉（営業キロ 39 km）と香住～鳥取（50.3 km）にある全ての駅舎に立ち寄ることに成功。当初の天気予報は雨マークで、山間の難しい区間が多々あるので、今回ばかりは100%踏破できないかも知れないと臨んだ。旅行期間中、大雨の影響で熱海土石流のような甚大な被害が発生したからである。しかし、私が歩いた鉄道沿線では天や神のご加護を得て天気に恵まれ、そして地元の人などにお世話になり、今回も有言実行でき感謝・感激・感動で一杯の5日間となった。



※鳥取砂丘

これで、通算営業キロは**1万2千261 km（歩き日数597日）**になるとともに、日本で一番長い山陰本線（京都～幡生：営業キロ 673.8km）のうち、**京都から出雲市までの**営業キロ 384.6 km（57.1%）が繋がった。同時に、日本海側沿線（青森～幡生 1,604.4 km）のうち、東能代から出雲市までの営業キロ 1,186.1km（73.9%）が繋がった。すなわち、**東能代～秋田～酒田～村上～新発田～新潟～長岡～柏崎～直江津～糸魚川～富山～金沢～福井～敦賀～小浜～東舞鶴～綾部～福知山～和田山～城崎温泉～浜坂～鳥取～米子～松江～出雲市。**



※餘部駅

50 数年振りに鳥取砂丘も散策できたし、観光スポットである餘部駅（天の駅）にも立ち寄ることができた。更に、偶然にも立ち寄った道の駅で、餘部駅から鎧駅までの”たかのすの森”ハイキングコースを教えて頂いた。この朗報により、少なくとも1時間位は短縮を図ることができた。そして、生まれて初めて城崎温泉連泊でゆっくり寛ぐことができた。それから、今回の旅の締めとして、和田山駅前にある”とまり木”（喫茶店）で、数名の方に特急発車までの時間を活用し、和田山界隈の観光や播但線の情報などを教えてもらう他に、カッシー館をPRする機会を得る。最高の上がりの場となった。新しい帽子が功を奏した。旅はいいものですね。



※餘部・鎧ハイキングコース



※二日お世話になった”しのめ荘”



※粹な情報交換の場

第1節 旅プラン

○2021年7月2日（金）曇り

ひかり 507号 10:21 → 京都 12:37

スーパーはくと7号 京都 12:52 → 鳥取 15:52

鳥取砂丘散策

鳥取泊（東横イン鳥取駅南口：0857-36-1045）



○7月3日(土)曇り/晴れ

鳥取 5:23 → 浜坂 6:06

浜坂～諸寄～居組～東浜～岩美～大岩～福部～鳥取 (営業キロ 32.4 km)

鳥取泊

○7月4日(日)晴れ

はまかぜ2号 鳥取 6:00 → 浜坂 6:30

浜坂～久谷～餘部(あまるべ)～鎧～香住 (17.9 km)

香住 13:59 → 城崎温泉 14:32

城崎温泉泊 (しののめ荘:0796-32-2411)



○7月5日(月)雨

こうのとり12号 城崎温泉 9:33 → 江原 9:51

江原～国府～豊岡～玄武洞～城崎温泉 (19.3 km)

城崎温泉泊

○7月6日(火)曇り

城崎温泉 8:58 → 豊岡 9:10

豊岡 9:12 → 江原 9:22

江原～八鹿(ようか)～養父～和田山 (19.7 km)

きのさき20号 和田山 17:11 → 京都 19:08

ひかり664号 京都 19:33 → 新横浜 21:54

第2節 心温まるメッセージ

2021年7月2日（金）からの4泊5日の旅について、SMSやSNSで発信したところ、沢山の方から心温まるメッセージを恵送頂きました。その一部を抜粋してご紹介させていただきます。感謝・感激・感動で一杯です。

(^^♪・・・・・・・・(^^♪・・・・・・・・

○梅雨のなか、山陰本線の旅祈完歩！！山陰本線の沿線の風景、ありがとうございます。
餘部の駅名板、貴重です！！~~祝~~全駅舎踏破！！車内独り乾杯



○日本海側もいいですね。魚料理がおいしそうです。出川哲朗の充電バイクの旅みたいに行き当たりばったりの宿泊先探しだと大変だと心配しておりました。鳥取砂丘は意外に茶色ですね。白い砂浜のイメージありました。天候のせいでそう見えるのかも知れません。有名な餘部鉄橋ですね。ありがとうございます。



○鳥取まで“スーパーはくと”でしたか。乗り心地よさそうですね。天候はいかがでしょう。快調に進めると良いですね！鳥取砂丘曇っているようですが、人がいなくてとても良い景色ですね！素晴らしい写真ありがとうございます。余部駅良いですね。遠くに海が見えて、最高のロケーションですね。下から望む鉄橋も、アングルが最高です。新駅舎エレベーターがあるんですね。新たな発見です。着実に目標達成されていますね。無事、目標達成おめでとうございます。家に着くのが遅くなりそうですね。





○鳥取県懐かしいです、三江線よく乗りました。日本の国鉄で一番長い廃線でした。頑張ってください。冬の城崎温泉はよく行きました。カニを食べに——餘部の高い鉄橋も下からみえました。工事で再建されたのかなあ！？ご苦労様お疲れ様でした。ゆっくり休んでください。

○お疲れ様です。余部鉄橋、有名デスね。雨☔は大丈夫ですか？何時もながら、ラッキーデスね。お疲れ様！！



○お疲れ様でした。全国的に雨模様でしたが、予定の行程無事に踏破されて良かったです！！○昨日は、写真ありがとう♪順調な様子ですね！カッシー館で植松氏の記事とSLの写真を見つけました。また、カッシー館に今回の旅を紹介してください。

○歩く鉄道作家、カッコいいネーミングですね。悪天候の時は気をつけて歩いてください。あっぱれ！！

○コロナ感染に注意して「旅」頑張ってください。

○和田山から鳥取をつなぐ旅お疲れ様でした。今回も楽しい旅になりましたね、先日は明石公園から明石の海岸を走りました。梅雨のあいまにうまく行動できましたね。お疲れさまでした！

○現在、老人大学が終り帰宅中です。帰り次第、カッシー館を覗いてみます。カッシーは、東奔西走神出鬼没と言うか、相変わらずの行動力には、いつもながら敬服します。餘部の陸橋、コンクリート橋になってからは、まだ、訪れていません。山陰ジオライナーに乗って訪ねたいものです？次のカッシー館楽しみにしております！山陰踏破お疲れ様でした。天候に恵まれ良かったですね！明日からは、梅雨末期の雨とか、カッシーは、天候も味方につけての鉄道沿線踏破、これからの活躍が楽しみです！

○新調された帽子で、この梅雨の時期に素晴らしいです。天気も祝福しているようです。攻めの姿勢が雨を吹き飛ばす！おめでとうございます！

○成功、おめでとうございます。お気を付けてご帰還ください。

○楽しい旅だったようで何よりです。

○梅雨のなかお天気に恵まれて良かったですね。気をつけてお戻り下さい。

○おめでとうございます。今年はコロナで数物会が出来ませんでした、コロナが終息したらまた、みんなで集まりましょう！

○お天気が悪そうなので気を付けて下さいね。カッシー館、覗いています。鳥取砂丘は5年前に行ったことがあります。今回も楽しい旅が出来ましたね。祝杯のお相手が欲しいですね。


○上越線の旅ブログにて拝見しました。札幌時代に越後の麒麟山の酒の販売会で購入。サッパリ辛口純米酒は美味しかったです。今日から山陰本線の旅、天気が心配ですが？八街市の小学生事故の様に、田舎道狭い道路の安全に気をつけて下さい。

○良かったね！あちこちで大雨や災害が発生してうる中で、天気にも恵まれた事、幸いでした。

○完全制覇までカウントダウンが始まっているのかな？雨の中無理せず楽しんで下さい。お疲れ様！昨夜はよく休めたことでしょう。次回に備え、英気を養って下さい。

○お疲れ様でした。「晴れ男」なのですね。ゆっくりお休みください。

○無事帰宅でき何よりです。今回の旅が熱海界限のような大雨でなく幸いでした。

○今回も嬉しい乾杯ですね！ホントにおめでとうございませ  お天気にも恵まれ何よりでしたね。私は昨日雨にも負けず 1637 メートルの富士見高原に行きました。お目当てはオオヤマレンゲ。白い可憐な花です。霧に包まれ頂上の見通しは望めませんでした

たが皆満足しましたよー



○大雨ですが、西日本はそんなに天気が悪くないのでは～歩き潰しの旅お楽しみください。この梅雨空の下、さすが強運ですね！お疲れ様でした。

○前線が活発になっています。気をつけて踏破頑張ってください。ブログは、帰宅してゆっくり拝見させていただきます。お疲れ様(^_^)でした。この梅雨時に万々歳ですなえ。羨ましく思います。ワクチン接種し、早く旅に出たいです。

○お疲れ様でした。いやー？たいしたものですね。祝杯を心から楽しんでください。

○凄いですね～気をつけて行ってくださいね。良かったです。お疲れ様でした。

○山陰本線の中でも特に有名な餘部鉄道橋ですね。貴重な写真ありがとうございます。城崎から 30Km, 鳥取まで 40km。天気が回復するといいいのですが、梅雨が気になります。旅館でゆっくりして下さい。それではまた。

○相変わらず行動派のカッシーさんには頭が下がります。昨今の交通事故を見るにつけ、無謀運転の被害に合わないよう、後ろにも気を配って歩いてください。ご健闘をお祈りしております。ちなみに私は只今温泉のマッサージチェアの最中です。おめでとうございます。相変わらずのタフと一緒に乾杯したいと思います。

○お疲れ様です。ゆっくり休んで下さい。おめでとうございます。

○暑い中、お疲れ様でした。しんどかったでしょう！本当によく頑張りますね！！凄いなあ。ゆっくり休んでください

○お疲れ様です。ご報告ありがとうございます！

第3節 1日目：2021年7月2日（金）：鳥取砂丘観光 曇り

2021年7月2日（金）曇り、山陰本線の旅の初日は、総合的な判断から自宅から鳥取までの移動を主とし、歩きなしのプランで臨むことにした。列車を利用した場合、神奈川から鳥取に向かう主な方法は、次の方法があるが、効率的なアクセスを考え、②で臨むことにした。



※いざ鳥取出発！！乗車券と特急券



※姫路～上郡～智頭～鳥取の路線図

- ①岡山まで新幹線を活用し、岡山から”スーパーいなば”で鳥取に向かう。
- ②京都まで新幹線を活用し、京都から”スーパーはくと”で鳥取に向かう。
- ③新幹線を活用し京都、京都から”きのさき”と”このとり”を乗り継いで城崎温泉、そして城崎温泉から各駅停車の列車を乗り継いで鳥取に向かう。



※新横浜駅、昼食、京都駅（スーパーはくと）



※スーパーはくと

それ故、京都駅から上郡駅までは既に踏破した東海道本線と山陽本線の沿線の風景を久しぶりに堪能する機会を得て懐かしくなった。



※上郡駅、佐用駅、大原駅



※智頭駅、郡家駅、鳥取駅

一方、上郡駅～鳥取駅までは、生まれて初めて乗る区間で、どのような風景に出会うか興味津々となった。上郡駅から智頭（ちず）駅までは、智頭急行の智頭線（営業キロ56.1 km）を活用、智頭駅から鳥取駅までは因美線（31.9 km）を活用し、”スーパーはくと”は、京都から鳥取まで繋がっていた。これらの区間、途中、佐用駅、大原駅、智頭駅、郡家（こおげ）駅で停車。その都度沿線の観光スポットのPRの影響もあり、何時の日かこの路線も踏破したい気持ちで一杯となる。正に「どこまでも続く鉄道よ」であった。



※鳥取駅南口、鳥取砂丘



※鳥取砂丘

約1年振りとなる鳥取駅には15時52分到着。懐かしい東横インでチェックインした後、タクシーで鳥取砂丘に向かう。高校1年以来で50数年振りの訪問となった。残念ながら全く記憶は忘却していた。砂山に上り、日本海を眺める。最高の気分となる。1時間位散策し、18時00分の路線バスで鳥取駅へ。



※鳥取砂丘から路線バスで鳥取駅へ

ホテルに戻り、昨年7月30日（木）～8月1日（土）お世話になった味処”くさかべ”に出向く。ご主人と奥様には約1年振りの再会で懐かしくなる。地酒と海の幸を中心に堪能。愉快的な初日であった。



※東横イン、味処”くさかべ”



※地酒と海の幸を堪能

第4節 2日目：7月3日（土）：浜坂～鳥取 曇り／晴れ

2021年7月3日（土）曇り／晴れ、旅の2日目は山陰本線の浜坂駅から鳥取駅までの営業キロ32.4kmに挑戦する。鳥取発6時51分発（浜坂7時40分着）を考えていたが、安全面と夕方になると雨の可能性が強いとの予報を聞いて、急遽鳥取発5時23分発（浜坂着6時6分着）に切り替える。結果的には大成功であった。昨年の下見で浜坂から鳥取にかけて山間が続くため、想定外の時間を要すると考えたからだ。



※鳥取駅



※浜坂駅前（湯村温泉）、浜坂駅

沿線を見ながら進む。今回の歩きの中で営業キロが最長の福部駅までは11.2kmあり、列車での所要時間は12分も要した。居組駅の周辺には民家がないので相当踏破に手こずると察知。そんなことを考えているうちに、浜坂駅には6時6分到着。隣のホームで豊岡行きの列車に連絡していた。



※浜坂駅界限、浜坂踏切、鳥取行きの列車

4日間を振り返り、本日のコースが最も難しかった。所要時間に12時間も要する。実際歩いた距離は45km位にはなるだろう。各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

浜坂(6:06)～諸寄(7:02)～居組(9:05)～東浜(10:53)～岩美(12:16)～大岩(13:48)
～福部(15:11)～鳥取(18:13)

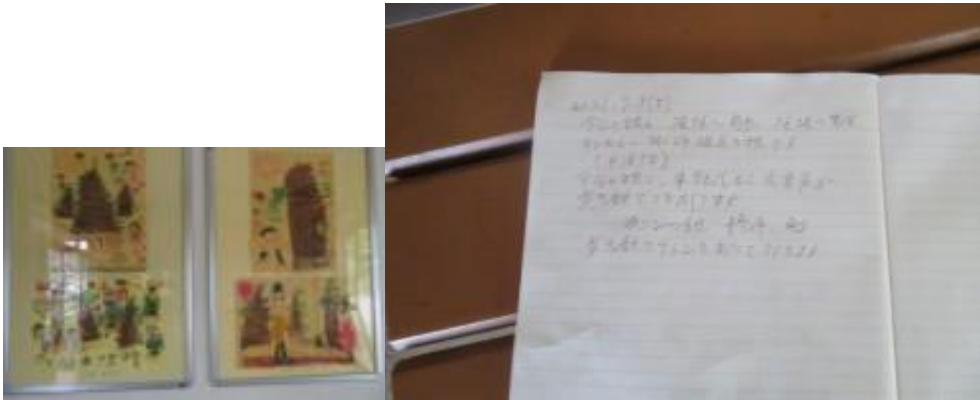
①浜坂駅界限を色々な角度から写真を撮り、ゆったりした気持ちで諸寄駅を目指す。6時21分、浜坂踏切を横切り鉄道の左側となる。国道178号を歩く。6時33分、遙か下の線路を鳥取行きの2両編成が通過して行く。その先に城山公園バス停(新温泉町民バス)があった。6時43分、諸寄跨線橋を渡り鉄道の右側となる。6時48分、雪の白浜海岸に出る。諸寄交差点先を路なりに歩き、線路を潜って150m位戻った先に諸寄駅があった。散歩中の人と数分話す機会を得る。「次の居組駅は山間にあり、少し大変ですよ」とアドバイスを頂き、駅で別れる。7時2分到着。駅のノートにメモする。線路下に到達したところで傘を駅に忘れたのに気付引き返す。5分位ロスタイムが生じる。



※雪の白浜海岸、諸寄駅



※諸寄駅



※諸寄駅、ノートにメモする



※諸寄駅界限、傘の忘れに気付く、この鉄道下を潜るとアウト

②居組駅から暫く、鉄道に沿って歩く。突き当りで鉄道を潜るか否か迷う。地図を確認したのが功を奏す。もし、鉄道を潜っていたら、とんでもない方向に進行するところであった。胸を撫でおろす。鉄道に沿って歩いた結果、15分位ロスタイムが生じる。海岸線に向かって軌道修正する。7時40分、国道178号線に戻るや否や、66歩あるおおとち川を渡る。7時41分、その先に最初の諸寄トンネル(418m)があった。ここから居組駅まであと3つのトンネルを通過することが余儀なくされた。ひとつは向磯橋を渡

った先で、8時1分竿谷トンネル（さおたに：146m）を。二つ目は、8時6分到着した釜屋トンネル（277m）を。このトンネルを出ると、8時19分、新温泉町居組の道路標識があった。そして、最後のトンネルは399mある穴見トンネル前に8時21分到着。8時32分、75歩ある穴見橋を渡る。8時50分、居組郵便局の交差点から左折し、15分位、線路に向かって歩く。高速道路下を潜り、山道となる。民家が全くない居組駅には9時5分到着。



※国道 178 号に戻る、大きなひまわり、竿谷（さおたに）トンネル



※居組郵便局



※居組駅への路



※居組駅

③再度、山道を下り、郵便局がある交差点には9時22分戻る。ここから、風光明媚な海岸線を高台から眺めながら山道を歩く。9時33分、曇り空から晴れマークとなる。9時43分、七坂八峠展望台に到達。今歩いている路は、「七坂八峠古道」とあった。ここからまだまだ東浜駅は遠かった。10時5分、やっと下り坂に入る。10時22分、兵庫県新温泉町から鳥取県岩美町となる。その先に「われは海の子／東浜海岸」と記した標識があった。10時28分、鳥取23km、浦富6kmと記した標識前を通過。10時34分、分岐点で東浜海岸と記した方向に進路変更し、坂道を下る。路地に沿って歩いた先に東浜駅があった。それにしても山道が続いたため、相当のエネルギーを消耗した。



※東浜駅への路、山陰海岸ジオパーク～居組海岸と湖吸崎（陸上岬）



※高台から山陰海岸ジオパーク、七坂八峠古道



※やっとならぶから鳥取県へ



※鳥取県の周辺案内図、われは海の子（この童謡は琵琶湖沿線歩きでも観たか？）



※東浜海岸への路、東浜海岸、東浜駅



※東浜駅



※東浜駅

④11時3分、人の気配が全くない、東浜海水浴場前を通過。11時11分、国道178号線に出る。鳥取20km、浜坂14km（反対方向）とあった。この国道は、ところどころ歩行ができない高速道路に繋がっており、歩く区間に苦労する。



※東浜海水浴場、羽尾坂トンネル

11時24分、本日5つ目の羽尾坂トンネル前に到達。誤操作によりトンネルの長さ測れず。11時30分、鳥取18km、浦富1kmと記した標識があった。11時37分、新吉田橋（吉田川）を渡る。11時42分、牧谷海水浴場前を通過。その先の交差点を、浦富方面に直進すべきか左折すべきか迷う。よく道路標識を見ると、左折方向には高速道路への案内と岩美駅への案内があり、迷いから開放される。高速道路でトラウマになっていた。12時1分、高速道路下を潜る。真っ直ぐ歩いた先に岩美駅（12時16分）があった。沢山の高校生の下校場面に出くわす。特急が停車するだけあり、賑やかな感じの駅前であった。駅前には岩美町観光会館があった。



※牧谷海水浴場、岩美駅への路、岩美駅



※岩美駅



※岩美駅、岩美町観光会館、岩井街道踏切

⑤12時28分、岩井街道踏切を横切り鉄道の左側となる。12時41分、本格的な天気となり暑くなる。サングラスと帽子の下にタオルを着用する。12時47分、102歩ある青い橋を渡る。その先の木陰が続く遊歩道で小休止。持参した菓子パンを頬張る。13時9分、79歩ある新井橋を渡る。13時16分、“きなんせ岩美”道の駅を通過。13時20分交差点に差し掛かり、右折すべきか左折すべきか右往左往する。運よく通行人の方がおられたので、大岩駅への道筋をお伺いする。「左折し真っ直ぐ歩いた先にあります」と教えて頂く。13時26分、162歩ある本庄橋（浦生川）を渡る。丁度、右手には鳥取行き列車（2両）が通過して行く。近いと思ったが、ここから意外に大岩駅は遠かった。13時48分、やっと大岩駅に到着する。林に囲まれた駅舎であった。



※この先の木陰で小休止、きなんせ岩美道の駅、大岩駅への路



※大岩駅



※大岩駅、細川神社

⑥14時16分、松江136km、倉吉56km、鳥取12kmと記した道路標識前を通過。幹線道路を淡々と歩く。14時20分、岩美町から鳥取市となる。14時31分、細川神社鳥居前で安全祈願する。14時46分、高速道路下を潜る。14時52分、68歩ある青崎橋（箭溪川）を渡る。15時7分、30歩ある塩見川を渡る。15時11分、福部駅に到着。駅前には”青少年健全育成推進の村（福部村）”の記念碑があった。鳥取駅から11.2kmも先に福部駅があるのがこの記念碑で理解できた。合併により鳥取市となったからであろう。



※福部駅への路、福部駅

鳥取・福部線・福部線 方面 for Tottori, Fukuwa, Fukuwa, Tottori		福部 方面 for Fukuwa	
平日 (weekdays)	土・休日 (weekends)	平日 (weekdays)	土・休日 (weekends)
5:10	5:10	5:10	5:10
6:20	6:20	6:10	6:10
7:30	7:30	7:15	7:15
8:40	8:40	8:40	8:40
9:45	9:45	9:45	10:00
10:55	10:55	10:55	11:10
12:05	12:05	12:05	12:20
13:15	13:15	13:15	13:30
14:25	14:25	14:25	14:45
15:35	15:35	15:35	16:00
16:45	16:45	16:45	17:00
17:55	17:55	17:55	18:15
19:05	19:05	19:05	19:40
20:15	20:15	20:15	20:40
21:25	21:25	21:25	21:50
22:35	22:35	22:35	22:50
23:45	23:45	23:45	23:50
0:00	0:00	0:00	0:00



※福部駅のダイヤ、福部駅

⑦15時27分、左近交差点で県道43号線（鳥取福部線）に合流する。この路筋は歩いても歩いても山道が続く。お蔭で木陰が続き心地よい道筋であった。15時55分、福部町八重原を通過。本日6番目の榎トンネル（435m）を16時25分から32分にかけて通過する。



※鳥取駅へも路、榎トンネル、桜並木

16時52分、桜並木が続く道筋を歩く。17時5分、音谷口バス停前を通過。17時13分、滝山橋北交差点に差し掛かる。この交差点を左折する。ここから、鳥取駅は一本路であった。17時22分、ポツリの水滴を感じる。暫く歩いた先で天気予報通り、小雨から本降りとなる。いつの間にか山裾から高架した鉄道となる。17時43分、鳥取駅2kmの標識前を通過。高架した鉄道に沿って歩く。18時3分、因美線が合流する。鳥取駅には18時13分到着。鳥取駅に着く頃には、雨は上がっていた。



※音谷口バス停、鳥取駅への路、滝山橋北交差点



※山間から高架路線へ、因美線合流、鳥取駅近し



※鳥取中央郵便局、鳥取駅北口

⑧ホテルに18時戻り、汗を流した後、昨日行った味処”くさかべ”で本日の疲れを癒す。本日は山あり海ありの変化にとんだ環境であったが、無事予定通り踏破でき、充実した一日となった。



※フコク生命鳥取支社、味処”くさかべ”で祝杯

第5節 3日目：7月4日（日）：浜坂～香住 晴れ

2021年7月4日（日）晴れ、旅の3日目は、山陰本線の浜坂駅から香住駅までの営業キロ17.9kmに挑戦する。今回の旅で営業キロは最も短かったが、餘部(あまるべ)駅から鎧(よろい)駅にかけ難所があり、また本日の宿は城崎温泉であったので、少しでも早く着きたい心境から、鳥取発6時の”はまかぜ2号”で浜坂(6時30分着)まで移動する。はまかぜは、鳥取または浜坂から播但線経由(和田山～姫路)で大阪に向かう特急で1日3便。昨日に引き続き、東横インでの朝食はパスする。昨日歩いた道筋を車窓から眺めながら浜坂駅まで向かう。



※いざ香住！！ 東横イン7Fから鳥取駅南口、鳥取駅



※鳥取駅、はまかぜ2号



※はまかぜ車内、浜坂駅

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

浜坂（6:41）～久谷（8:29）～餘部（10:20）～鎧（11:45）～香住（13:24）



※浜坂駅、駅前の足湯

①昨日に引き続き、浜坂駅界隈をゆっくり観察してから久谷駅を目指す。駅前には足湯もあった。本日は昨日の反対方向の歩きとなる。暫く、鉄道に沿った左側を歩く。昨日

とは異なり山間ではなく水田地帯を歩く。6時52分、あじはら川があり迂回を余儀なくされる。7時7分、99.8mある福富橋（岸田川）を渡る。右手には岸田川橋梁とあった。7時18分、湯島街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。



※あじはら川、久谷駅への路、岸田川橋梁

261号線を歩く。7時22分、豊岡50km、香美18kmと記した道路標識前を通過。7時28分、道路下にアマガエルを見つける。7時31分、万歩計で128歩ある対田橋（久斗川）を渡る。左手にはJR線、右手には久斗川が流れていた。7時48分、左手に浜坂行の車両があった。7時54分、またアマガエルに出くわす。少し山間に入る。8時7分、久谷の標識があったので、この方向に進行する。途中で地元の人に対面し「久谷駅はまだ遠いですか」とお伺いする。「少し歩いた先の坂道を上った先にあります」と教えて頂く。ネットで行き過ぎないように注意しながら進む。やっと坂を上る地点を発見し、そこから急な細い路筋を数分上った先に久谷駅（8時29分）があった。山間の中に駅舎があった。



※湯島街道踏切、再びアマガエル、久谷駅への路



※久谷郵便局から駅遠し！！、急な斜面を上る



※久谷駅

②急な坂道を下り、幹線道路に出る。8時39分、八坂神社があった。本日の安全を祈願する。ここから、高台に久谷駅が見えた。8時44分、久谷駅への標識があった。ここから山道を淡々と歩く。8時53分、高速道路下を潜る。9時6分、標高132.7mある桃観峠先に桃観トンネル(588m)が続いていた。人の気配は殆どなく、トンネル内で1台のみ車が通過して行くという状況であった。トンネル内で新温泉町から香美町となる。9時18分、トンネルを出ると香美町の標識があった。



※八坂神社、遠くに久谷駅



※餘部駅への路、桃観トンネル、餘部駅への路

坂を下る。9時13分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。9時34分、桃観トンネルの案内板があった。9時40分、右手に西川橋梁があった。その先で餘部道の駅まで2kmと記した道路標識を通過。10時2分、遠くに餘部駅の鉄橋が目に入る。10時8分、餘部駅

と記した交差点に到達。その先に餘部駅（10時20分）があった。駅前の「餘部鉄橋空の駅開設記念」には平成25年5月3日竣工とあった。6時から23時までオープンな餘部クリスタルタワーエレベーターを活用し、47mある餘部駅ホームに向かう。この駅で数分立ち止り、空の駅からの風景を堪能する。



※餘部駅



※餘部鉄橋空の駅開設記念、餘部クリスタルタワー、エレベーターより



※餘部駅への空の通路、餘部駅



※余部駅、余部鉄橋空の駅



※余部鉄橋



③余部駅鑑賞後、隣にある余部道の駅で小休止する。この案内所で”余部・鎧たかすの森案内図”をゲットする。当初は余部駅から鎧駅までの営業キロ1.8kmを大きく迂回して大回りし5km位は覚悟していた。しかし、この案内所に立ち寄ったお陰で、山道のハイキングコースを教えて頂く。1時間はショートカットできたであろう。安全面を配慮し迷ったが、案内図もあるし、天気も晴れなのでハイキングコースに急遽挑戦することとする。高松一高恩師の國金義典先生の「この道」の詩を思い出した。”危ぶめば道はなし／踏み出せばその一步が道となる”（抜粋）



道の駅、五反畑橋（長谷川）



※余部駅から鎧駅への案内図

五反畑橋（長谷川）を10時49分スタート。路地を通り、10時52分、ハイキングコースの出発地点（鎧駅まで2.5km）に到達。ここからハイキング路となる。用心して山道を歩く。途中、土砂が落ちている箇所や樹木が倒れている箇所もあったが用心深く歩く。

ハイキングの道筋には樹木の名前を表示していた。因みに11時7分、スタジイ（ブナ科）とあった。



※鎧駅 2.5 km、鎧駅に向けてスタート



※中間地点（餘部駅 1.55 km、鎧駅 1.55km）、老木



※鎧駅まで 0.15 km、線路に出る（遠くに鎧駅）



※鎧駅

11時8分、鎧駅まで1.75 km地点に到達。11時14分、餘部駅1.55 km、鎧駅1.55 kmの中間地点に到達。11時21分、鎧駅まで1.25 km地点に到達。11時24分、鎧駅まで1 km地点に到達。11時30分、鎧駅まで0.75 km地点に到達。そして11時34分、鎧駅まで0.55 km地点に到達。11時35分から歩道が土からコンクリートとなる。11時40分、鎧駅まで0.15 km地点に到達。その先で線路を見つけ安堵する。11時45分、鎧駅に到着する。本日唯一の難所と考えていた、餘部駅から鎧駅までの区間を56分で踏破できホッとす。同時に達成感と充実感に浸る。駅ホームから海岸線がちらっと見える。



※鎧駅、鎧駅界限

④鎧駅から香住駅までは営業キロ5.4 kmあり、上り坂が多く、リュックを背負っていたこともあり相当エネルギーを消耗する。しかも、途中自動販売機がなく、水の有難さを骨身に感じる。熱海峠や北陸本線の南今庄駅への踏破を思い出す。12時8分、大回りすれば、鎧駅に向かう予定の交差点に到達する。



※右往左往した交差点、三田トンネル



※二つ目のトンネルを目指す、虫尾トンネル、香住の町が遠くに

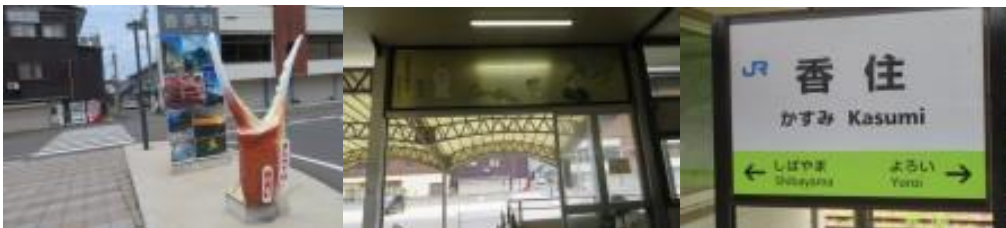
この交差点で直進すべきか左折すべきか右往左往する。しかし、この交差点に地元人と対面できてラッキーであった。「左折して2つトンネルを越えた先に香住駅はあります」と教えて頂く。しかし、トンネルまでの道のりは長かった。12時16分～12時21分にかけて、万歩計で608歩ある三田トンネルを通過する。トンネルを出ると太陽がまぶしく感じる。12時33分～12時37分にかけて、万歩計で502歩ある虫尾トンネルを通過する。12時46分、右手にJR線路を見つけ安堵する。12時58分、やっと自動販売機にありつける。13時10分、156mある矢田橋（矢田川）を渡る。右手には矢田川橋梁とあった。昨年7月30日（木）に踏破した香住駅には13時24分到着。これで、城崎本線から出雲市が繋がる。



※兵庫県立香住高等学校、矢田橋（矢田川）



※香住駅



※香住駅

⑤当初予定していた香住発 13 時 59 分の列車で城崎温泉に向かう。城崎温泉には 14 時 32 分到着。城崎温泉は 2020 年 2 月、2020 年 7 月そして今回と 3 度目となった。昨年利用させて頂いた、“しのめ荘”に向かう。14 時 50 分到着。聞くとところによると、コロナ禍の影響で本日の客は私一人とのことであった。嬉しいやら寂しいやら複雑の気持ちで一杯となる。食事は 18 時からとし、内湯で寛いだ後、7 つの外湯のひとつである”さと湯”に向かう。本日の疲れを癒す。18 時からの夕食も蟹三昧で大満足。温泉付きの旅は良いものですネ。



※香住駅、城崎温泉駅



※城崎温泉駅から”しのめ荘”へ



※柳通り、地獄湯、さとの湯



※城崎温泉街ぶらマップ



※しのめ荘で乾杯！！

第6節 4日目：7月5日（月）：江原～城崎温泉 雨

2021年7月5日（月）雨、山陰本線の江原駅から城崎温泉までの営業キロ19.3kmに挑戦する。折角の温泉なので、できるだけ宿に長く留まれるよう旅行プランに最大限の神経を費やした。



※地獄湯、朝食



※城崎温泉駅



※城崎温泉、江原駅

7時から外湯のひとつである地獄湯で汗を流し、宿でゆっくり朝食をとる。ゆっくり寛いだ後、城崎温泉9時33分の”このとり12号”で、本日歩く道筋を車窓から眺めながら、江原まで移動する。本日の駅舎は概ね円山川に沿ってあった。江原駅には9時51分到着。駅前の風景をデジカメに収めた後、国府に向かってスタートする。各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。



※江原駅

江原（9:56）～国府（10:54）～豊岡（12:46）～玄武洞（14:23）～城崎温泉（15:35）

①お蔭様で国府駅までは曇り空で歩くことができる。10時3分、琴川第二保育園前を通過。10時5分、但馬神キリスト教会前で「神は愛である」をメモする。水田地帯を歩く。国府駅には10時54分到着。



※琴川第二保育園、国府駅への路



※国府駅

②国府駅を少し歩いたところで、10時58分水滴を感じる。ここから次第に小雨となる。11時8分、向野橋（105歩）を渡る。11時36分、但馬空港入口の道路標識あり。11時52分、国道312号豊岡市佐野と記した道路標識前を通過。右手に円山川があった、11時57分、かばん団地豊岡靴工業センターと記した標識前を通過。12時1分、幹線道路を離れ一般道に入る。12時13分、豊岡駅の標識を見つけるが、ここから豊岡駅は遠かった。雨でメモできず。12時46分、やっと豊岡駅に到着。



※豊岡駅への路、かばん団地豊岡靴工業センター



豊岡駅への路、ここから豊岡駅遠し、兵庫県立芸術文化観光専門職大学



※豊岡駅近し、豊岡駅



※豊岡駅

③13時3分、京都丹後鉄道の宮豊線を跨ぐ。鉄道に沿った農道を歩く。辺りに所々黒い雲が出現する。遠くに鉄道があるが、非電化と天候で確認しにくし。13時29分、城崎の標識を見て右往左往する。雨で見通しが悪かったが、第六感で直進する。13時41分、農道が終り、一般道への路筋が閉ざされる。しかし、少し歩いた先に1m位の岸をよじ登ると、一般道に繋がっており安堵する。県道3号線に合流。13時48分、豊岡市一日市と記した標識前を通過。13時54分、奈佐小橋界限にある塩屋地蔵尊前を通過。雨小振りとなる。14時16分、日和山行きのバスか通過して行く。14時23分、玄武洞駅に到着。



※京都丹後鉄道の宮豊線（前方）、黒い雲出現



※城崎の標識、農道をよじ登り一般道へ、塩屋地蔵尊前



※玄武洞駅

④円山川に沿って淡々と歩く。14時36分、海の駅がある。食欲を注いだが、宿での夕食があるのでパスする。14時51分、今歩いている道路は”円山川リバーサイドライン”とあった。こうのとりの特急車両が通過して行く。14時51分、旬鮮市場前を通過。15時1分、香住ガニ前を通過。15時22分、前方に円山橋を跨ぐ城崎大橋があった。この橋を渡ると京丹後市と繋がっていた。15時26分、今津踏切を横切り、鉄道の左側となる。15時32分、豊岡市立城崎小学校があった。城崎温泉駅には15時35分到着。



※玄武洞駅、海の駅、こうのとりの号通過



※海の幸の店多し、”はまかぜ”と対面



※城崎大橋、今津踏切



※豊岡市立城崎小学校、城崎温泉駅

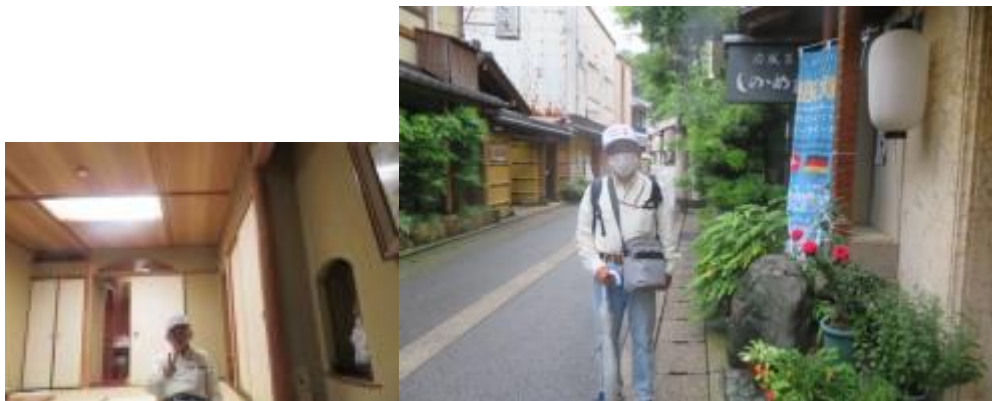
⑥宿には15時46分到着。一服したあと、7つの外湯の一つである”一の湯”で本日の疲れを癒す。雨の中ではあったが、予定通り踏破ができ、引き続き達成感に浸る。18時少し前から夕食を頂き、英気を養う。本日も宿泊は私1名とのことであった。聞くところによると、寂しい話であるが、どの宿も数名のお客とのことであった。一日で早く、コロナが終息し、温泉街が元気になる願いで一杯となった。



※地酒で祝杯

第7節 5日目：7月6日（火）：江原～和田山 曇り

2021年7月6日（火）曇り、山陰本線の江原駅から和田山駅までの営業キロ19.7kmに挑戦する。本日は自宅の戻る日なので、和田山から予定していた時刻（きのさき20号和田山17時11分）に絶対乗り遅れない、安全なプランで臨む。すなわち、営業キロ19.7kmに対し、8時間弱を見込む。八鹿駅（ようか）で30分位方向性を誤りロスタイムが生じる。また、もう少しで橋を渡り、養父駅（やぶ）には2km位大回りをする方向に進行しそうであった。地図を良く点検したのが功を奏し、安全なプラン策定は大成功であった。それ故、和田山駅前でゆっくりした時間がとれた。



※しのめ荘

暑中
お見舞い
申し上げます

暑さ珠の外
さびしき折柄
皆々様のご健康を
お祈り致します

盛夏

特典
●ハガキご持参の方へ一枚につき
贈送一本プレゼント！
●女性の方には精進のゆかたを
貸して頂きます

紅かに一匹付会席
【1泊2食】16,500円(税込)
※休前日は2,100円(税込)増し、
昼休みは別途料金となります。
※3名様以上は1,000円引き。

【1泊2食】11,000～19,800円(税込)
その他、色々なプランをご用意しており
ます。当館サイトもぜひご覧ください。

城崎温泉 岩風呂
しのめ荘

〒669-6101 兵庫県豊岡市城崎町高島757
TEL.(0796)32-241140
FAX.(0796)32-2589

【P C】 <http://www.sinonomesou.com>
【モバイル】 <http://m.sinonomesou.com>

貸切風呂
ございます
【要予約】

モバイルサイト

※早速暑中見舞いのお礼状を頂く！！



※地獄湯、北柳通り、城崎温泉駅



※城崎温泉駅、江原駅

起床後、内湯に浸った後、宅急便を手配いし、重いリュックを少しでも軽くする。その後、7時外湯の地獄湯で再度浸り、7時半頃から宿で朝食とする。そして、小休止しチェックアウト。旅館前で記念写真を撮って貰った後、8時20分頃、2日間お世話になった”しのめ荘”を後にする。本日は、昨日より約30分早い列車（各停）で江原まで移動する。

本日のコースは易しそうであったが、意外に円山川が障害物となり想定外に難しいコースであった。最終日である本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

江原（9:25）～八鹿（ようか、11:28）～養父（やぶ、13:48）～和田山（15:16）

①江原東口を昨日と反対方向に9時25分スタート。9時36分、荒神社前で本日の安全を祈願する。その先の蓮生寺前で分かりやすい標語を見つけたので、「聞く耳持たねば一方通行／対話は家庭の交叉点」をメモする。9時50分、万歩計で167歩ある尾川橋（稲葉川）を渡る。右手に尾川橋梁があった。10時4分、活字が消えて不明な洞門を通過する。10時12分、赤碓交差点で国道312号に合流する。10時50分、曇り空から薄日となる。淡々と水田地帯を歩く。歩いても歩いても八鹿駅は見えず。11時9分、やぶ温泉の標識がある。11時23分、八鹿踏切を横切り、鉄道の右側となる。市街が広

がり、路なりに歩いた先に八鹿駅（11時28分）があった。丁度、城崎温泉行きの”このとり”が発車する瞬間であった。駅前には全但バスターミナルがあった。



※荒神社、尾川橋梁、浅？洞門



※八鹿駅への路、八鹿踏切



※八鹿駅（特急停車駅）



※全但バスターミナル、誤って九鹿方面に進行、八木川

②ここから誤って、鉄道に沿ってではなく、直角に進もうとしていた。川が複雑に絡み、1 km位九鹿方向に進んでいた。少し変だと思い、対面した方に聞いて大成功。「この方向に行っても絶対行けません。養父駅はあっちの方向ですよ。遠いですよ」と教えて頂く。方向性を誤り、少しパニック状態となる。地元の人のお世話になる。11時57分、万歩計で167歩ある八木川を渡る。12時3分、扇町土木所前バス停前を通過。12時8分、宮越交差点で、見覚えのある朝来(あさご)、姫路の地名を見つけ安堵する。なお、紀勢本線の白浜駅と紀伊田辺駅の間に、朝来(あつそ)駅がある。朝来市(あさご)との読み方が違うので強く印象に残った。12時11分その先にJR線を見つけ、現在地をやっと確認できる。12時21分、姫路82 km、朝来11 km(和田山駅あり)と記した道路標識前を通過。12時23分、道の駅但馬楽座2 kmと記した標識があった。



※養父駅への路(リカバリーする)、第四村の踏切、千石橋

12時37分、万歩計で221歩ある大屋橋(大屋川)を渡る。12時46分、第4村の踏切を横切り、150mある千石橋(円山川)をもう少しで渡るところであった。地図を確認したのが功を奏した。もし、この橋を渡って入れば、円山川に沿ってある養父駅には近くに橋がないため、到着できなかった。橋をわたり和田山方面からの引き返しが伴うため、1時間位はロスタイムが生じていたであろう。胸を撫でおろす。この踏切手前の円山川に沿った路筋を疑心暗鬼で進む。道が細そく、途中で行き止まりも想定されたからだ。ダメなら引き返せばいいと開き直った。ここでも、高松一高の恩師國金義典先生の”この道”の詩を思い出した。13時6分、養父神社の手前で。近隣の方とやっと対面でき、この疑心暗鬼は解消される。この界隈から道は少し広がる。



※養父駅への路、養父神社、養父郵便局

13時18分、養父郵便局前を通過し、民家が多くなるので養父駅近いと思ったが、意外にここから遠かった。歩いて歩いて養父駅に到着できず。13時21分、路線バスと対面する。そのうちに、山間となり民家が少なる。13時30分、猿岩踏切で京都丹後鉄道の特急車両が通過して行く。豊岡駅の先にある久美浜駅からの回送であろう。こ踏切を渡って、鉄道の左側となる。少し歩いた先で、再度、高い建物もある民家が見えて来る。13時40分、右手に猿岩橋梁があった。やっと広々とした敷地に面した養父駅には13時48分到着する。



※猿岩踏切で京都丹後鉄道の特急車両、遠くに養父駅、ゴルフ練習場



※猿岩橋梁、養父駅

③14時23分、高瀬踏切を横切って鉄道の右側となる。14時31分、宮田交差点で円山川を渡る橋が登場。もし、千石橋を渡って入れば、この橋を経由し、養父駅を目指すことを余儀なくされた。国道9号線に合流する。



※養父駅、高瀬踏切



※宮田交差点（国道9号線に合流）、京都119km・福知山36km地点

14時29分、和田山郵便局前を通過。14時34分、京都119km、福知山36kmと記した道路標識前を通過。浜坂行きの特急”はまかぜ”と対面する。14時38分、236mある和田山トンネル前に到達。その手前で工事現場があり、係員の方に誘導して頂く。このトンネルを出ると、朝来市の街並みが見えて来る。ここから和田山駅は意外に遠かった。途中、食事をする店（道産子のサッポロラーメンやマスタ屋）もあったがパスする。できれば和田山駅に到着してから引き返そうと考えていた。しかし、これらの店までは和田山駅から20分～30分位はあった。播但線も合流する和田山駅には15時16分到着。和田山駅は胡麻から和田山まで踏破する際の起点となったので懐かしい。2021年3月20日（土）が昨日のように蘇る。



※和田山トンネル、トンネルを出ると朝来市内、昼食で立ち寄ろうとした店



※和田山駅への路



※和田山駅

和田山発きのさき 20 号（17 時 11 分）まで 2 時間弱待ち時間があったので、駅前界隈の喫茶店で時間潰しをしようと思いつく。和田山駅の係員の方に聞くことにする。駅前にそのような店があるとのことで出向く。駅前の交差点先に” とまり木サロンわだやま” という粋な店があったので立ち寄る。食事はできないが、近くのコンビニで持ち込みは可能ということで利用させて頂く。私の帽子が功を奏し、” 全国鉄道つたい歩き” へと話題が展開する。事前に用意していた A4 判のチラシを店にいた数人の方に配布し、カ

ッシー館を PR する機会を得る。また、和田山駅観光や播但線の情報についても聞く機会を得る。非常に有意義な 1 時間であった。



※とまり木サロンわだやま



※和田山駅、京都駅、新横浜駅

④きのさき 20 号とひかり 664 号を乗り継いで自宅に。新幹線内で山陰本線の京都～出雲市、日本海側沿線の東能代～新潟～敦賀～出雲市の連結が完成したこと対し祝杯をあげる。同時にこの熱い思いを何人かの友人に SMS や SNS で知らせる。今回も天や神、地元の人、そして友人などに感謝・感激・感動で一杯となる。旅は実に楽しい。どこまでも続く鉄道よ。完



※新幹線車内で祝杯！！